2023年10月作成（第6版）

機械器具55　医療用洗浄器
一般医療機器　　JMDNコード：34630000

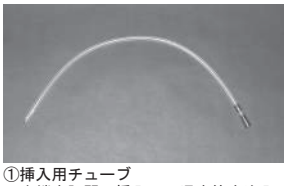
届出番号：13B3X10007000001

【　ヒップウォッシュ　】（手動式生体用洗浄器）

再使用禁止

【　禁忌・禁止　】
再使用禁止

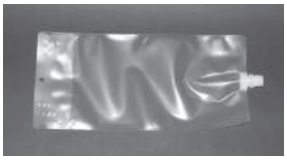
【形状、構造及び原理等】



①挿入用チューブ
先端を肛門に挿入し、温水等を注入する。

②連結コネクター
①挿入用チューブと③軟質ビニールチューブを連結させる。

③軟質ビニールチューブ
①挿入用チューブと④ラミネートスタンド袋とを繋ぐ。



④ラミネートスタンド袋
温水等を溜める部分。

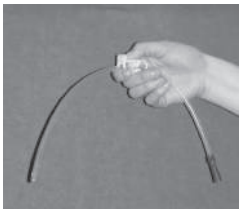
⑤S字フック
④ラミネートスタンド袋を吊るす。

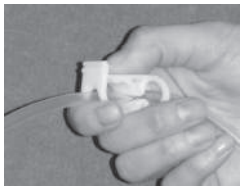
⑥ストッパー
①挿入用チューブを挟み、温水等の流出を止める。

（材質）
挿入用チューブ：ポリ塩化ビニール（可塑剤：フタル酸ジ（２－エチルヘキシル））

【使用目的、効能又は効果】
温水等を肛門から注入することにより便秘症を改善することを目的とする。

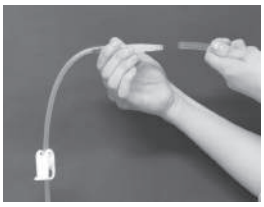
【操作方法又は使用方法等】

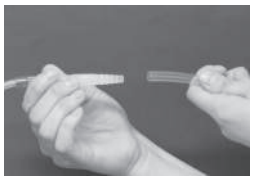




左写真拡大

①ストッパーを挿入用チューブの中頃まで差込む。
その際あらかじめ、必ずストッパーでチューブを押さえておく。





左写真拡大

②連結コネクターの両端を挿入用チューブのアダプター（赤い部分）と軟質ビニールチューブに差込み、連結させる。

③

④

⑤

組み立て後

③ラミネートスタンド袋のキャップ部分（白い開口部）から温水等を入れる。

④軟質ビニールチューブ先端部分のキャップでラミネートスタンド袋を閉める。

⑤付属のS字フックを使用し、袋のキャップ部分を下にして吊るす。（高さは目安として床から５０cm位）

⑥挿入用チューブを肛門に挿入する。

⑦ストッパーを緩め、温水等を肛門より注入する。中断する場合にはもう一度、ストッパーを締める。

⑧使用前には滅菌精製水などで通水を確認、洗浄すること。

〈使用方法に関連する使用上の注意〉
使用時の高さは床からラミネートスタンド袋の底辺までを約５０センチとし、それ以上の高い位置にはしないこと。

使用する温水等の温度は４０℃を超えないこと。

チューブ挿入の際は、肛門内にホホバオイル等の潤滑油を必ず塗ること。

チューブ挿入の長さは先端より２０センチを目安にし、それ以上挿入しないこと。

チューブ挿入および取り外しにあたっては、肛門や直腸を傷つけることの無いよう必ずゆっくり行うこと。

肛門への挿入時に困難を認めた場合には、無理な挿入は止めること。

排泄後はシャワー等で肛門の内外を洗浄し、常に清潔に保つこと。

排泄の際は無理に力まないこと（両手の平で静かに圧力をかけながら行うのが望ましい）。

【使用上の注意】
下記に該当する場合は使用しないこと。
妊娠中の方　大腸に憩室炎の疑いのある方　腸に癒着のある方
最近開腹手術をした方　小学生以下の方

肛門や大腸・小腸に病気のある方、またはアレルギーのある方は使用をしないこと。

他人に対して本品を使用することは医療行為であり、医師以外は行ってはならない。

１日２回以上行う場合は１ﾘｯﾄﾙ～２ﾘｯﾄﾙの水分補給を行うこと。

万一、身体に変調をきたした場合は使用を中止し、かかりつけの医師に相談すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期限等】
〈貯蔵・保管方法〉
直射日光及び火気を避け、常温で清潔な場所に保管すること。
〈使用期限〉
外箱の使用期限を参照のこと（自己認証による）。

【包装】
〈１セット入〉挿入用チューブ　１、　連結コネクター　１、
軟質ビニールチューブ　１、　ラミネートスタンド袋　１、
S字フック　１、　ストッパー　１、

〈１人分〉　挿入用チューブ　２、　連結コネクター　２、
軟質ビニールチューブ　２、　ラミネートスタンド袋　２、
S字フック　１、　ストッパー　１、

〈２人分〉　挿入用チューブ　４、　連結コネクター　４、
軟質ビニールチューブ　４、　ラミネートスタンド袋　４、
S字フック　２、　ストッパー　２、

【製造販売業者の氏名又は名称及び住所等】
株式会社ハウ
〒114−0002　東京都北区王子２－３１－７ドエル王子２F
電話０３－３８２７－６４３１